

お寺とNPOから生まれた、新しい市民財団

－財団設立までの30年と、その先にある未来－

一般財団法人 リタ 市民アセット財団

リタ 市民アセット財団の、「リタ」とは

「リタ」とは、もちろん「利他」がひとつの語源となっています。

大河内住職やNPOの皆さんが、「利他」の心を持って長く活動してきた
仏教的な意味合いを含めました。

他に、英語圏で「真珠」という意味のMargaritaという女性名の愛称形
「Rita」の意味も含めています。

サンスクリット語や古代ギリシア語でも、美しい言葉として使用されてきた
「リタ」を、私たちは宗教とは切り離れた財団の名称として名付けました。

・お寺の住職、さまざまな社会活動をしているNPOや個人など
たくさんの方々による 財団設立のストーリーは、

30年以上前まで さかのぼります

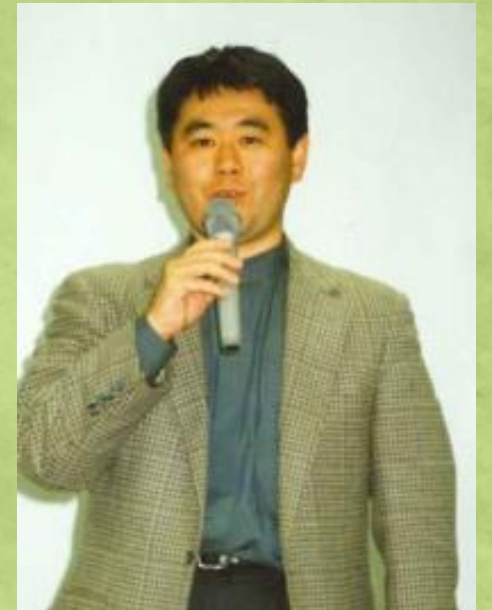


! 若き日の 大河内秀人住職は、あることに気づきました

大河内秀人住職のお話 その1

- ・20代で僧籍をとり、家業のお坊さんになる
- ・お寺だけでは生計をたてられないので、仏教関連の団体に就職
- ・就職先の仕事で、NGOというものを知る

仏教とNGOってどこか似たところがあるなあ



- ・仏教青年会のユニセフ募金で、ブータンの子どもたちの命を守る活動支援
- ・カンボジアの視察で、JVC（日本国際ボランティアセンター）を知る

自分も、日本でNGOに参加しよう



大河内秀人住職のお話 その2

- ・家のお寺（江戸川区、文京区）を、若くして継ぐことになった
- ・江戸川区で「寿光院」が貸している、土地の状況を把握する
（管理がほとんどできていない・・・）
- ・寺院経営のために、貸地の整理をはじめ

でも不動産屋じゃないんだし、お寺の役割って何だろう？

- ・少しずつ契約形態などを変え、お寺自身が使える土地・建物に
していくことで、寺院経営を改善！
- ・その土地・建物（アセット）の一部をNGOなどの社会貢献活動
に使ってもらい、社会に役立てようと考えた

人に役立つことが、本来のお寺の姿だよなあ



1990年「小松川市民ファーム」というコンセプトを考える

- ・単に部屋を市民活動団体に貸すということではなく、市民活動を育てていくファーム（農場）として、市民が主体となって社会を変える場として、マンションの一画を **小松川市民ファーム** と名付ける

「シェア＝国際保健協力市民の会」へ
活動場所を提供（第1号）

※その時にご相談した、本田徹医師が財団の評議員になってくださいました！



・30年以上のあいだに分野を超えた市民団体が活用し、育っていった

NPO 法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

市民外交センター

NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

未来バンク

江戸川子どもおんぶず

NPO法人ジュレー・ラダック

子ども文化NPO 江戸川子ども劇場 などなど



大河内秀人住職のお話 その3

・支援をしているうちに、いろいろな仲間がではじめる

(田中優さん/未来バンク、上村英明さん/市民外交センター、奈良由貴さん/生活者ネットワーク などなど)

◎ 1998年「江戸川INGO大学」を、つながりのできた仲間とスタート

第1回のテーマは、「50周年を迎える世界人権宣言」

◎ 関係者が多忙となる2010年まで、多くの企画を開催してきた

専門性やテーマが違っても、「市民社会の担い手」として

志を共有できる、団体や人のネットワークができた！

・江戸川INGO大学のネットワークは、その後も長く
活かされ続けている

江戸川子どもおんぶずと足温ネットが協働して、
「気候変動と子どもの参画」がテーマの企画を
2023年子どもの権利フォーラムなどで開催



アセットの社会活用が、江戸川区に広がっていった

- ・小松川市民ファームに続いて、様々な市民活動団体などへ、借地、賃貸、無償貸与などのかたちでアセットを提供しはじめる



高齢者グループ・ハウス「ほっと館」



障がい者グループホーム「CASAことのは東」

- ・そのアセットは、高齢者、子どもの居場所、就労移行支援、難民、障がい者、環境問題、など幅広い支援に活用されている



放課後デイサービス「ばんびーのEST」



ほっと館の屋上の市民立発電所

そして文京区や世界まで、活動は広がっていった

- ・文京区にあるお寺「見樹院」でも、寺院の一部を公益活動のために活用するようになっていった

現在では、関係団体のいくつもの世界でも活動を行っている



おもてまちおもてなし食堂 (「文社協だより」より)



NPO 法人ジュレー・ラダック

大河内秀人住職のお話 その4

・気が付いたら、アセットを提供してから30年以上・・・

いつの間にかアセットを活用した団体が発展して
地域の中に「豊かな市民社会」ができていた！



- でも、昨今のお寺を取り巻く状況は厳しい
このままだと自分がいなくなったら、この仕組みも無くなってしまふ・・・

これまでの蓄積や、現状を持続可能にするには
どうすればいいんだろう

💡 みんなに相談しよう！



2022年 プロジェクトがスタート

- これまでの蓄積を、これからも残すためのプロジェクトがスタート
(財)庭野平和財団も、応援してくれることになった！

- ◆プロジェクトメンバー；
- | |
|-------------------|
| 青木沙織 (江戸川子どもおんぶず) |
| 井筒千春 (デザイナー) |
| 奥田裕之 (未来バンク) |
| 奈良由貴 (足温ネット) |
| 小池達也 (よだか総合研究所) |



PJで30年間を調べると、いつの間にか貴重な「コモンズ」が出来ていた
他を探しても、日本社会や仏教界で似た取り組みは見当たらない

⇒ 大河内住職と多くのNPOが進めてきた取り組みを
「社会全体の仕組み」に新しく作り替えることで、
いままでの蓄積や現状を未来に残していこう！

「お寺」から「社会」へ仕組みを移すために、いろいろ調べてみたら
国で「公益」についての、少し似た感じの議論が進んでいた

[公益法人等制度改革特集ページ - 公益法人information \(koeki-info.go.jp\)](https://www.koeki-info.go.jp/)

公益法人制度 2025年4月

公益信託 2026年4月

「公益」に関する2つの法律が変わります

公益法人が、その潜在力を最大限に発揮して、多様で変化の激しい社会のニーズに柔軟に対応しつつ、社会的課題解決に向けた活動を担うことが可能に

➡新しい資本主義が目指す「民間も公的役割を担う社会」の実現に貢献

だそうです

公益活動に税優遇が使える、公益信託を受けられる可能性も持つ

新しい制度で「公益財団法人」をつくらう！

⇒ リタ市民アセット財団の第一歩がスタートしました

財団の目標が決まる

- ① 大河内住職やNPOなどが行ってきた取り組みを、持続可能な新しい仕組みにしていく

皆で進めてきた活動を、財団法人に
まとめて、これから100年間以上続く
新しい助け合いのしくみをつくろう！



② 志ある人が社会貢献に活用できる、いまの時代の土地・建物や
資産の受け皿になる

江戸時代にお寺が喜捨を受けた土地を、現代の
NPOなどが社会活用して役立てているように、
未来のために「志」のある土地・建物、資産の
新しい受け皿に、財団自身がなろう！



③ これまで30年間 一緒に活動してきた仲間や、これから社会貢献を始める人たちとともに、ご提供を受けた資産の社会活用を行う

社会で使う土地・建物やお金を、財団が受けていきながら
社会貢献団体のネットワークで、その活用方法を話し合っ
てみんなでそれを社会のために活用していこう

「公益財団」と「ネットワーク」が両輪となって
自分たちなりの「公益」を創ろう！



これって、これからの新しい社会の姿かもしれない

2024年11月11日

一般財団法人 リタ市民アセット財団 設立

信頼できる方々も、協力してくださることになりました

一般財団法人 リタ 市民アセット財団

評議員	伊藤 明雄	(宗教法人 見樹院 総代)
	枝木 美香	(NPO法人 アーユス仏教国際協力ネットワーク 事務局長)
	斉藤 洋子	(江戸川子どもおんぶず 会計)
	本田 徹	(NPO法人 シェア=国際保健協力市民の会 前代表)
	ジョナサン ワッツ	(International Network of Engaged Buddhists (INEB) Honorary Adviser)
理事長	藤居 阿紀子	(NPO法人 ほっとコミュニティえどがわ 事務局)
副理事長	奥田 裕之	(未来バンク 理事)
副理事長	奈良 由貴	(NPO法人 足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ 代表)
専務理事	大河内 秀人	(宗教法人 寿光院、宗教法人 見樹院 住職)
理 事	青木 沙織	(江戸川子どもおんぶず 事務局長)
	井筒 千春	(合同会社 ロドリコ 代表)
	上村 英明	(市民外交センター 顧問)
	服部 広隆	(NPO法人 福岡すまいの会 事務局長)
監 事	小池 達也	(一般社団法人 よだか総合研究所 理事)
	濱口 博史	(弁護士)

リタ 市民アセット財団は、国や地方自治体、企業や市場と
少し違った、長く持続可能で、未来に希望をもつことのできる
新しい仕組みをつくりたいと考えています



ご協力 よろしくお願いいたします



団体HP : <https://rita.or.jp>

お問合せ先 : 一般社団法人 リタ 市民アセット財団

住所 : 東京都江戸川区松江1-11-13 (松江の家)

メール : info@rita.or.jp

電話 : 03-5879-5459